



町報
開拓
第一

所役者 場
岡 垣 賢 任 深 田 順 一

まつくい虫駆除

まつくり虫による被害の発生は

出来ません。以上のような事情を充分考慮の上強力な駆除の推進を

お願いします。

因に当時老人実態は六十五才以上、男六三一人女八二五人計一、四五六人になっています。（昭和46年12月1日現在）老人一人暮らしの実

ことが記録されています。其の後終戦後の昭和二十三、二十四頃から再び全國的に異常が発生し激増の道をたどってきました。

T-75 乳剤A又はペインサイド
乳剤を二〇倍液に調合し、幹、根
株、小枝に至るまで充分にかけて

女	男	84	6
26	7	85	7
30	15	89	6
20	11	89	6
19	9	6	6
10	2	6	6
1	1	7	7
計	計	46	8

下さい。廃液は一ml (三、六石)
に薬剤二びん (五〇〇cc入) を二
〇倍液 (水一〇〇ml) にして散布し
ます。薬剤使用については容器の
注意事項を守って下さい。

この傾向は核家族化が進むにつれて益々強くなることが必定かと考えます。一人暮しの老人自身は、

切り倒した被害木の皮と切り株はぎ、この上に皮や小枝をかぶせ焼却する方法で駆除することもで

いよどてですが何からしゃべりな感じ
ます。こういう人達に対しては近
隣の方達の、愛の一言運動を進め
てゆきたいと思います。

注意して下さい。
※薬剤は岡垣町森林組合（産業課
内）に於いて現金販売しておりま
す。

又は環境上、経済上の理由により
居宅において養護をうけることが
困難な老人に対しては養護老人ホ
ームへ、又は身体上、精神上の著

老人福祉についておもう

廣雅

なれば経済面は勿論社会的にも大変な損失となり、早急に徹底した駆除を実施してまついい虫の撲滅をはかる必要があります。そのた
めには森林所有者の皆さんひとりひとりが自覚され、もう一度自分
の山を見廻りまづいい虫被害木を
調査の上、部落ごとに期間を決め
一齐駆除を実行していくなどと
以外に岡垣町のまつを守ることは

老人福祉法が制定せられて八年になります。国民の平均寿命が七〇才にもなり、更に昭和六十五年頃には八〇才にも達するだろう、

如き施設が漸次増設されではおり
ますが、全国的にみた場合その施
設は七〇万人の要収容老人に対し
七万人程度の収容施設しかないと

蹴って駆けるスキーヤーの姿やかな
群像を想い浮べ乍ら霧峰を下り信州路に入る。

岳の巨峰、きら星の如く白雲上に連なり聳え、更に眼を左に転ずれば、はるか彼方(日出糸)に名画そのままの否名画も遠く及ばぬ雲峰富士嶽の麗姿を遠望す。この大なる自然の豪張らしい景観、雄大と言ふが豪壯と言おうか、筆舌のよくする所にあらず、この眺望、鳴呼絶景哉の一匁あるのみ。恍惚しづしと我を忘る。

と並び、太平洋に注ぐ分水嶺。千二百米のトンネルを過ぐれば己に暮色蒼然、峠より見下す宿泊の地諒防湖周辺の夜景又美観たり、慄然と仰き一行を迎う。

明くれば第二日。蓼科山の中腹、千四百米の高所の人造湖、白樺湖を一周、車はビーナスラインを曲折、霧が峰に登る。秋ともなればわけて森深きこの高原も稀にみる今日の快晴に恵まれあくまで澄み渡り、視界端然と広がる。眼前名もやさしい美しが原の向うには三千米級の北アルプスの稜高。槍

法要に臨み、続いては、構想建築
一際異彩を放つ北陸の日蓮宗木山
妙成寺。

或は西国三十三観音靈場巡拝を
磨崖一寺におさめた那谷寺。さて
は規模広大な大道場をもつ禅宗の
永平寺等有名な神社仏閣に巡拝す
ては、足らざる敬神崇仏の念を重



に深め得。信仰と觀光に花咲き盛る芦原温泉、近く丘陵に建つ福井成田山下を通りては、先年视察期査、願叶つて、本町に誘致建立せられた木綿山中腹の成田不動寺の弥勒堂発展をひたすら念じつゝ、最終ステ琵琶湖畔を廻り、米原を過ぎて名神高速に入り千六百杆の走行終えて大阪着。かえりみれば随所の名所旧蹟、景勝地は言うも更。所

御老体多き一行の姿
伍もなく遙なく終えしを
甚ぶ。「旅は道連れ世は
情、袖振合つも他生の縁。」わは
て同行各位の御芳情に接し一入賀
情を温め得ましたことを心より感
謝申上げ、町の御世話、添乗の頼
請氏にも謝意を表し乍ら、拙文を
詫びここに駄筆を擱く。

日本海の荒波強風災害の原因
災に、道路改良中の劣等工事を
を以て、近代工学技術革新
新進歩に驚くばかり。

私の小学校一年生の習字は紙帖二十枚をとめて、筆でハナ、ハントなどと全部の紙が真黒になつて、もまだ其の上に習字させられて、時々先生から新しい一枚の紙を垂らしてそれに書きし出すると、よく書けた時は教室に貼り出される佳組であった。一帖の紙で一年も手習した程、大事な貴重品だったことを思うと時代の流れに驚かざるを得ない。

それから私達が小学生の頃は皆がハナタレであって、口の下までゴンバナをたれていた祝日に校歌が教育勅語を読まれる間このハナをすり込む音があちこちに聞える。この教育勅語は実にいや

を軽に貼りつけて天日にぼしてそのまま見ただことを覚えている。

このように昔の紙は寒中苦勞の上に出来たもので量も少なかつたから、使う人達は大事にして粗心にするとはなかつた。現今では製紙会社で色々な良い紙が大量に作られるので、買物しても「重の重の」の包装紙で家のの中は紙くずでやまされている。

変れば品がわる。その地その所性物、有の風景風物、さては人情習慣等、心引かれしもの枚舉に遠なく、故原小林一茶の生家を尋ね、数々の遺品筆墨を拝観しては、人間性眞かな人情俳家の生涯を偲び、全國唯一の千里が浜の渚ドライブも亡かれ難く、国道八号線を走り、親知らずの難所にかゝれば、

紙の話

紹の話

な時間であつた。現在の子供にはナタレの居ないのは食べものが良くなつた関係かも知れない。ある時この話をしたら一婦人が「チリ紙があつたろうもん」といわれたが、その当時一錢か一錢何厘かのチリ紙を持たせる親はなかつたようだ。それだから昔は荷物の袖口でハナをふくから袖口はビカビカに光っていた。

今一つ便所の話であるが当時は古新聞さえ手に入らん時代で、父は半道位先の川に行って川の中の藻を取つて来て乾してこれを使川したから尻の痛いこともあつた。

このような紙の思い出話は明治三十年代から世相の移り替りをかえり見てのことであつて人間の知恵の進歩に驚くばかりである、この調子で三十年五十年先になつたら、どんな世界になるのか、それを見るまでは死んではならんと明治生れの人達は皆々願つて居られるが慾をいっても人間の命は限りのあるもの、生れ時が早かつたとあきらめる外ありますまい。



体力づくり

(9)



これからのはくり

エーション

いつも私だけがやつくなっているとお思いでしようから十一月七日の毎日新聞に載った、

第二回全国レクリエーション大

会（文部省主催、北九州市開催）

「日本人は自由時間が不足している。働くことの前にレクをする。」
位置づけるべきだ。日本人は「時間貧乏」であり、「高密度病」におかれている大規模観光開発とか、おしゃせのレジャー産業は反省すべきで、空間と密度を考えたレクを求めねばならない。

城野節子九大教授

「大学の運動場を一部の選手だけが占有したり、園の手算を対抗試合用に使ったり、団体という名のままにだけ使うのは納得できない。スポーツを含めレクは、恵まれた人、一部の人ものではなく、国民みんな

性を回復する点から考えねばならない国民全部の問題である。レクは人権回復運動であり、戦いとなるものである」

遊津孟松下電器人事部長

「現代人は『生きがい』を求めている。その重要な一つがレクだ。のんべんだらりの仕事では意味がない。より眞面目により厳しく働いたあとに、より自由な楽しいレクがあるべきだ。」

西山卯三京大教授

「日本人は自由時間が不足している。働くことの前にレクをする。」
位置づけるべきだ。日本人は「時間貧乏」であり、「高密度病」におかれている大規模観光開発とか、おしゃせのレジャー産業は反省すべきで、空間と密度を考えたレクを求めねばならない。



性を回復する点から考えねばならない。」
秋吉嘉範福岡教育大助教授
「レクは衣、食、住となる基本的な人権だ。豊かな人間らしい生活のためのレクリエーションが必要で、その環境づくりに取り組まねばならない」

会場からも活潑な意見が出立派な体育施設はどんどん出来るが、歌謡ショーなどに使われる方が多く、真に市民のための施設となつていい」

「学校の施設は一般に開放できなかいのか」など

× × ×

更に十一月五日毎日新聞のレク特集号に秋吉嘉範福岡教育大助教授の「人間が人間らしく」という記事が載っている。以前に書いたことと重複する点もあるが、要点を

× × ×

遊ぶことは悪いことだ、という意識が日本人には強い。たとえばたいていの学校に見られた二宮金次郎の立像。柴を背負い、本を読む姿。それが勤労勤勉主義の「期待される人間像」だった。

長時間働くことは美德であり、暇が多いのは怠け者とみられた。そんな意識は、今も中高年層に根強くい。これは日本の庶民の生活が貧しかったことと、儒教思想から生まれたといえる。

——長畠

のシンポジウムの要點をのせます。× × ×

石垣純二氏（医事評論家）

「公害など深刻な社会問題を出した高度成長政策を批判し、人間性を回復する点から考えねばならない国民全部の問題である。レクは人権回復運動であり、戦いとなるものである」

のものであるべきだ。商業ペー

スのレクには反対。

頭の切り替えが必要ではないか」

秋吉嘉範福岡教育大助教授

「レクは衣、食、住となる基本的な人権だ。豊かな人間らしい生活のためのレクリエーションが必要で、その環境づくりに取り組まねばならない」

会場からも活潑な意見が出立派な体育施設はどんどん出来るが、歌謡ショーなどに使われる方が多く、真に市民のための施設となつていい」

時間除くと三十四、五万時間。

われわれはこの自由時間についていかに過ごすべきか教育されただろうか。これまでの教育は、人生の十分の一にすぎない労働についての教育だった。

暇をもてあますのは老人だけでなく、若者さえも何をしていいか分らず、家庭の主婦も電化製品で余暇はふえ、子供は少なく、教育ママになつたり、欲求不満は高まっている。

新しい自分を見いだす、自己創造——それがレクリエーション。

機械に人間が振りまわされ、仕事に生き甲斐を感じることは少い現状が、人間が人間らしくというレクリエーションは大変重要なものである。

※共済期間
1、出資金は一世帯一口百円
2、掛金は一人年三百六十円です。

但し同一世帯二人以上加入のときは、二人目より年三百円です。

※共済期間
出資金、掛金をそえて加入申込をした翌日の午前〇時より向う一年。

※災害見舞金

等級	災害の程度	共済金額
1	死亡の場合	50万円
2	不景、施設になつたとき	30万円以内
3	6カ月以上の休業治療を要するとき	10万円以内
4	3カ月	5万円以内
5	1カ月	2万円以内
6	1週間	5千円以内

申込み
役場総務課にいつでも受付ております。

交通災害共済に加入しよう

り「仕事を苦痛であり、できるだけ縮減すべき」という考えが強くなり、「遊ぶために働く」という考え方、若者の間に強まっている。考へが、若者の間に強まっている。一生でどれ位の自由にできる時間をもつてているだろうか。八十才まで生きるとして、労働時間は五十六万時間、睡眠、食事など生理的時間除くと三十四、五万時間。われわれはこの自由時間についていかに過ごすべきか教育されただろうか。これまでの教育は、人生の十分の一にすぎない労働についての教育だった。

いつ、どこで、だれが交通事故にあうかわかりません。その時急場の生活の窮状を速かに救済するのが、この交通共済制度です。

成人祭には
簡素では

来年一月十九日九時半より十時から吉木小学校講堂で、成人式を行います。
対象者は昭和二十六年四月二日から昭和二十七年四月一日までに生れた人です。
成人式は一時間ぐらいですますし、後はフォーケダンス等をしますから女人の人も洋服で来て下さい。

(以上資料提供長順一郎氏)
今年の夏、私の庭に池を堀っていいたら、地下一尺位の所から、つぼかめ、たかつき（台のついた入れ物）の破片がいくつも出てきた。これは五世紀後期から六世紀（五百年前）のいわゆる古墳時代の土師器（ハジキ）である。このほか火を焚いたと思われる灰のくずも見られた。
これからみると、当時この附近に家があつたことは確実である。やがて以前のことだらう。

内浦七〇戸位のうち、三〇戸位は小字“村”に家が建っている。だから小字を“村”という。その一番西側・湯川山に近い方に長畑順一郎氏宅、私の家、長畑保氏宅少し離れて旧石井重太郎氏の家が

建っている。ここには大昔森があつた。

これは湯川山がぬけても——大雨が降り、土砂が、いわゆる山津波が「村」をおしつぶさないための砂防林である。

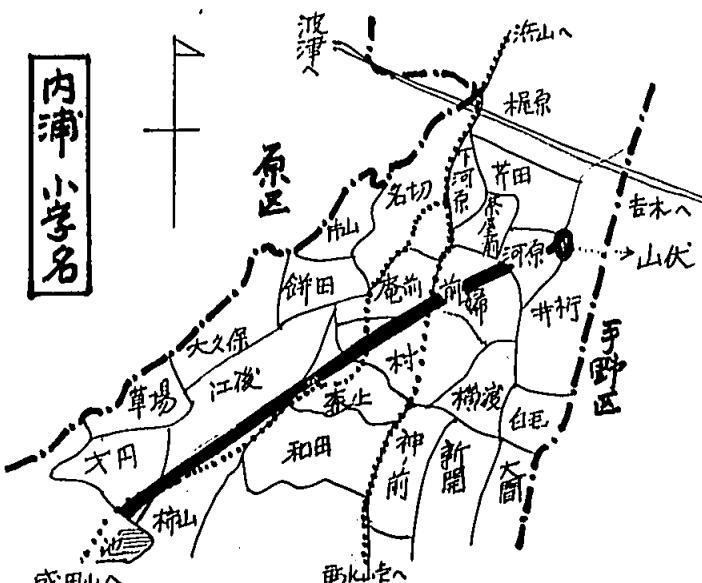
この森より高い方——西の方を「森ノ上」という。

そのお陰で、内海だった内浦、平野、三吉、元松原も、肥沃な耕地になつた。

婦”“河原”的田ん市に水を入れても、すぐ下にぬけてしまつ。以上、今まで出てきた土地は全部、地下にごろごろ石の層をもつており、地上の水を吸い落して地下をごんごん流れている。(図面の太枠の線)

の沿で、今でも、食糧難の戦時中
でも椎茸がおい茂っている。

A decorative illustration featuring stylized, symmetrical floral or leaf-like motifs in black and white.



內浦 小字名

歩け歩け運動休止

これは昔「名切」宿駅があつた時
お茶屋——休憩所のあつた所の前
である。

それより西に「庵ノ前」という
所がある。これは八七代四条天皇
の御菩提を弔うため巡歷し、元松
原安樂院に足をとめた小竹姫が庵
を建てた（今の長瀬寺）所の前で
ある。

れは田植する時、田んぼの中に井の字のように、木か竹の杭（けた）を渡し、それを踏んで植えなければ、足が地中にめりこんだのだらう。

九月から毎月第一日曜日の朝行
なっている歩け歩け運動は、一月
二月は休止し、来年三月から始め
ます。